

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和6年4月 成果指数決定
令和7年6月 評価結果を決定

(2) 評価の方法

本計画の初年度に目標の達成状況を評価するための指数を検討する。計画期間終了後、指数に基づく評価を実施し、評価結果はホームページ等で公表する。

4. 総合的な所見

施設整備計画に掲げていた事業について、概ね計画通り目標を達成することができた。
各小学校屋内運動場照明器具LED化の完了により児童及び教員の教育環境を改善するとともに、施設の脱炭素化を実施した。また福江中学校校舎トイレの内部改修を実施し、トイレ環境の改善を図った。
事業を実施できなかった、福江小学校屋内運動場空調整備については、改めて関係者と協議の上、次年度に実施する。

5. 各目標の達成状況

(1) 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した ☒ 達成できなかった

【所見】

福江中学校校舎トイレの乾式化、便器の洋式化等の内部改修を実施し、トイレ環境改善の目的を達成できた。

福江小学校の大規模改造(空調)事業で屋内運動場に空調設備を整備する計画であったが、事業の入札不調が続いたため、実施できなかった。次年度、整備スケジュール等を再調整し実施する。

(3) 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した ☐ 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 ☒ 目標を達成した ☐ 達成できなかった

【所見】

田原中部小学校、高松小学校、若戸小学校、亀山小学校の屋内運動場照明器具のLED化により、児童・教員の適切な照度を確保し、教育環境の改善を図った。また、施設の脱炭素化を実施することができた。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した ☐ 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業 区分	整備方針				事業完了 年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物 区分	構造 区分	全事業期間 (契約～完成)			
田原中部小学校	(4)	06	大規模改造(教育内容)	屋	R	R6.7～R6.9	R6.9.12	事業入札不調のため、次年度に実施	
高松小学校	(4)	06	大規模改造(教育内容)	屋	R	R6.7～R6.9	R6.9.12		
若戸小学校	(4)	06	大規模改造(教育内容)	屋	R	R6.7～R6.9	R6.9.12		
亀山小学校	(4)	06	大規模改造(教育内容)	屋	R	R6.7～R6.9	R6.9.13		
福江小学校	(2)	06	大規模改造(空調)	屋	R	—	—		
福江中学校	(2)	06	大規模改造(教育内容)	校	R	R6.7～R6.9	R6.9.20		